

	一般的名称	報告の概要
52	ホリナートカルシウム	手術可能局所進行胃癌に対してフルオロウラシル+/-ロイコボリン/放射線療法後に胃摘出手術を行なうPhase II 試験において、心筋梗塞およびうっ血性心不全により各1例が死亡した。
53	非ピリン系感冒剤(2)	妊娠中のアセトアミノフェン暴露により、子供の喘息発症リスクが高まることが示唆された。
54	タゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウム	感染症患者9488例を対象としたタゾバクタムナトリウム・ピペラシリンナトリウムをルーチンに使用した場合の臨床的有効性と耐容性を検討した観察研究において、411例が死亡し、うち、本剤との因果関係がありと評価された死亡が12例あった。
55	イブプロフェン含有一般用医薬品	変形性関節症患者でイブプロフェンを投与された群で、心血管イベントの発症リスクが高まることが示唆された。
56	非ピリン系感冒剤(3)	アセトアミノフェンの常用者において、多発性骨髄腫の発症リスク上昇が示唆された。
57	ハロペリドール	心停止の既往のある患者にドンペリドンとハロペリドールを投与した場合、心停止のリスクが高くなることが示唆された。
58	硫酸インジナビルエタノール付加物	FDAの有害事象報告データベース(AERS)を用いた解析により、インジナビルにおける高トリグリセリド血症、血中トリグリセリド増加および骨壊死のPRRが他のHIV治療薬に比べて高かった。
59	ドンペリドン	入院患者での不整脈、心停止、突然死のリスクは、ドンペリドンとハロペリドールを投与された場合高くなることが示唆された。
60	カベルゴリン	パーキンソン病患者にカベルゴリンを投与すると、心弁膜症発症リスクが高まることが示唆された。
61	ホリナートカルシウム	リンパ節転移陽性の結腸癌第3期を完全切除し、フルオロウラシル/ロイコボリン術後補助療化学療法を施行した患者227例を対象としたレトロスペクティブ研究において、白血球減少による敗血症を含む死亡例が4例認められた。
62	ホリナートカルシウム	未治療進行胃癌および胃食道接合部癌患者38例を対象としたセツキシマブ/フルオロウラシル/ロイコボリン/イリノテカンのPhase II 試験 (FOLCETUX)において、発熱性好中球減少症による死亡例が1例あった。
63	イトラコナゾール	健常日本人を対象とした無作為化二重盲検クロスオーバー試験において、イトラコナゾールがパロキシチンのC _{max} ,AUC、消失半減期を有意に上昇させることが示唆された。
64	リスペリドン	リスペリドンとリファンピシンの併用により、リスペリドンのAUC、C _{max} が減少することが示唆された。
65	シクロスポリン	腎移植患者27例を対象とした横断研究において、シクロスポリンが動脈硬化危険因子に関連することが示唆された。
66	インターフェロンアルファコン-1 (遺伝子組換え)	インターフェロン アルファコン-1とリバビリン併用療法を実施した慢性C型肝炎患者94例の甲状腺機能を評価したところ、甲状腺機能に障害のある患者が女性27例、男性9例であった。
67	塩酸ドキソルビシン	British National Lymphoma Investigation,Royal Marsden Hospital,St. Bartholomew's Hospital,Christie Hospitalのデータベースを使用したホジキン病患者7033例のコホート研究において、アントラサイクリン系薬剤を投与された患者2826例中24例に心筋梗塞により死亡した。
68	硫酸マグネシウム・ブドウ糖	切迫流産に対し硫酸マグネシウム・ブドウ糖を長期に使用すると、新生児の骨石灰化異常が見られることが示唆された。
69	塩酸バンコマイシン	dalbavancinに関する研究の際にサンプルとして選定された菌株のうち、1株がVancomycin-intermediate Staphylococcus aureus(VISA)であった。